

本科 1 期 6 月度

解答

Z 会東大進学教室

高 1 選抜東大英語

高 1 東大英語



## 8章 態

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) 300 人がその会社に雇われている。
- (2) 公園の門は毎日夕方 5 時に閉まる。

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) We were given that vase by her. / That vase was given us by her.
- (2) A chair was made for me by my grandfather.

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) She has been made to return the money (by them).
- (2) The man was seen to hide a suspicious package under a seat in the bus.

#### ■ 確認問題 4

##### 解答

- (1) Strict teachers are often looked up to.
- (2) The stone walls were covered with about 50 cm of mud.

## 【1】

## 解答・解説

- (1) ウ「嵐のために、それ以上何もすることができなかった。」〔助動詞 + be + 過去分詞〕
- (2) エ「昨年その国を襲った台風によって、多くの人々が亡くなった。」〔Many people が主語で、by the typhoon と続いているので、受動態の文になる。〕  
○ be killed by ～「～によって死ぬ」
- (3) エ「彼の妻は交通事故で負傷したために、入院している。」〔「交通事故で負傷した」と言う場合、be injured [hurt] という受動態の文で表す。〕
- (4) エ「彼は風邪で1週間寝込んでいる。」〔アの lain は自動詞 lie の過去分詞なので、has been lain という形にはならない。イは他動詞 lay の進行形なので、次に目的語となる名詞相当語句が続かなければならない。ウ lied は「嘘を言う」の意味の lie の過去形で不適切。エ be laid up with ～「～で寝込む」の意味でふさわしい。〕  
lie - lay - lain (自動詞)「横になる、置かれている、ある」  
lay - laid - laid (他動詞)「～を横たえる、置く」
- (5) エ「そのミルクの一部は市場に到着する前にすっぽくなくなったので、捨てなければならなかった。」〔( ) away の主語は some of the milk なので、throw away 「～を捨てる」の受動態にする。エ「捨てられなければならなかった」が正解。〕
- (6) エ「このテレビはどこか故障していて、修理する必要があるのではないかと思います。」  
○ need to be *done* = need ...ing 「…される必要がある」
- (7) イ「私はこの写真を見ると、いつも田舎での幼い時代を思い出す。」←「田舎での幼い時代を思い出さないで、私はこの写真を見ることはない。」〔be reminded of ～「～を思い出す」で、前置詞 without の次にくるので動名詞の形にする。〕  
○ be reminded of ... < remind ... of ... 「～に…を思い出させる」
- (8) ウ「無謀な運転をしたために逮捕されたその若者は、治安判事によって、警告だけで放免された。」  
ア send down ～「～を刑務所送りにする」  
イ give up ～「～をあきらめる」  
ウ let off ～「～を放免する」〔let - let - let〕  
エ drive away ～「～を追い払う、車で連れ去る」  
○ caution 「警告 (可算名詞)」
- (9) エ「船がさらに沖へ出て行くにつれて、その島は霧の中へ見えなくなった。」〔lose sight of ～「～を見失う」で、～が主語になっているので、受動態にする。lose sight of でひとまとまりなので、エの the island was lost sight of in the mist が正解。〕

## 【2】

### 解答・解説

- (1) The little girl will be well looked after by my parents. 「私の両親がその女の子の世話をきちんとするだろう。」[look after ～ (～の世話をする) は look after を1つのまとまりとして扱う。また, well は副詞で, 副詞の位置は比較的自由だが, 上のように受動態に変換した文では, 動詞の近くに置く方が, 意味が誤解されない。]
- (2) He has never been asked anything (by anybody). [O<sub>1</sub> を主語としたもの]  
Nothing has ever been asked him (by anybody). [O<sub>2</sub> を主語としたもの]  
「誰も彼には何も尋ねなかった。」[否定語が any- の後にくることはない。cf. × Anything has never been asked him.]
- (3) His advice seems to have been taken no notice of (by anybody). 「誰も彼の忠告にまったく耳を貸さなかったようだ。」[まず, It seems that ～ の that 節内を受動態にして It seems that his advice was taken no notice of [was not taken any notice of]. と考えてみる。take notice of ～ 「～に気付く, 注意する」は1つのまとまりとして扱う。また, 主節の時制 (seems) と that 節内の時制 (took) にずれがあるので, 完了不定詞にする。]

## 【3】

### 解答・解説

- (1) The woman working on the farm (was struck dead by lightning). [died が不要]  
[能動態にした文は S V O C の文型で, C には動作の結果を表す名詞・形容詞がくる。He pushed the door open. と同じ形。本問はその受動態。]
- (2) (The matter is being looked into by the government). [is を加える]  
[進行形の受動態「be 動詞 + being + 過去分詞」を考える。]  
○ look into ～ 「～を調査する, 研究する」
- (3) We (Japanese don't like to get involved in any kind of warfare).  
○ We Japanese 「私たち日本人」[We と Japanese は同格。]  
○ get involved in ～ 「～に巻き込まれる」  
○ warfare 「戦争」
- (4) It (is said that the best way to understand a foreign country is to get acquainted with the people of the country).  
○ it is said that ～ 「～だと言われている」  
○ the best way to do 「…する最良の方法」  
○ get acquainted with ～ 「～と知り合いになる」

#### 【4】

##### 解答

アメリカの労働者は、週当たりのますます短い労働時間を要求し続けている。週4日労働の可能性が今真剣に考慮されつつある。

##### 注

- continue to do 「…し続ける」
- 比較級 + and + 比較級 「ますます…」
- possibility 「あり得ること、可能性」 < possible
- be 動詞 + being + 過去分詞 「進行形の受動態」

#### 【5】

##### 解答・解説

##### (1) ア, ウ, オ, カ

ア 「会ったばかりの人に個人的な質問をすることは好意的なやり方ではない。」 ℓ. 1  
do not ask personal questions of people you have just met から読み取れる。

イ 「英国人は『結婚しているの、していないの?』と尋ねるのを好む。」 ℓ. 2 Nor do you ask him if he is married に矛盾する。

ウ 「日本と同様に、英国においても書店で本を買わずに立ち読みしてもよい。」 ℓ. 4  
In bookshops, you may stand reading books without buying. In this point, England is like Japan … に一致する。

エ 「イギリスでは、新聞や雑誌を読みたい時、それらを買うべきではない。」本文中にこのような記述はない。

オ 「英国の銀行では長い間待つ必要はない。」第4段落の内容に一致する。

カ 「英国のホテルでは、寝る時に靴をドアの外に置きっぱなしにしてもよい。」 ℓ. 13  
In a British hotel, you may leave your shoes outside your door when you retire for the night. に一致する。

キ 「靴がドアの外に見つからない時は、警察に電話しなければならない。」 ℓ. 14 If you sometimes find them gone, don't telephone for the police. に矛盾する。

ク 「寝る前に靴磨きのボーイに靴を磨いてくれるように頼まなければならない。」本文中にこのような記述はない。

##### (2) 新聞や雑誌を売っている所。

- newsagent 「新聞雑誌販売業者」(米語では newsdealer)

##### (3) stand there reading the latest monthlies and weeklies from cover to cover

##### (4) 「全訳」の下線部(3), (7)を参照。

- (3) ○ give away ~ free 「～を無料でやる」

- bar 「酒場, バー」

- as ~ 「～のように」

※先行する主節に not が含まれる場合 [ℓ. 7 や ℓ. 11 の as も同様]

一般に「～のように」と訳されることが多いが、先行する主節に not がある場合は、「～のように」と訳しては意味が曖昧になるか、日本語としては反対の意味を表すことがあるので注意しなければならない。

cf. This practice is *not* usual here, *as* it is in Japan.

(a) (この習慣は、日本の場合のように、ここでは普通ではない。)

(b) (この習慣は、日本の場合と違って、ここでは普通ではない。)

(a)の訳は「日本の場合も普通でない」のか「日本の場合は普通である」のか  
が曖昧になってしまうので、「日本の場合は普通である」ということをはっきり  
伝えるためには、(b)のように訳すとよい。

(7)○ They = Your shoes

○ in time for ～「～に間に合って」

○ good 「ここでは「十分な」の意味。」

○ departure 「出発」

(5) ウ〔下線部(4)の present は他動詞で「～を差し出す、提出する」の意味。〕

ア「ブラウン氏は昨日その会議に出席していた。」

○ present *adj.* 「出席している（叙述用法）」

イ「現在の部長は私にとっても優しい。」

○ present *adj.* 「現在の（限定用法）」

ウ「私は会議で私の新しいプランを提案するつもりだ。」

エ「ここにあなたへの贈り物がある。」

(6) they call your name 「動作主が示されていないので、一般の人を表す総称の主語を立てる。この場合、they が最もふさわしい。〕

(7) your shoes will not be stolen by anybody

#### 全訳

英国では、会ったばかりの人に個人的な質問をしてはいけない。知らない人に年齢や収入や住所を尋ねてはいけない。また、結婚しているかどうか、あるいは子供がいるかどうか尋ねてはいけない。

書店では、本を買わずに立ち読みしてもよい。この点では、英国は日本や他のアジアの多くの国々と似ている。しかし、新聞や雑誌を売っている英国の新聞スタンドでは、最新の月刊誌や週刊誌を初めから終わりまで立ち読みすることは、日本で許されているのと違ってあまり好まれない。

英国では、マッチはいつも買わなければならない。(3)日本と違って、酒場や喫茶店でかわいい小さな箱に入れて無料でくれたりすることは決していない。

銀行では、カウンターでただ小切手を渡すだけで、行員はすぐにお金を払ってくれる。日本の銀行と違って、名前が呼ばれるまで座って待つ必要はない。英国の銀行には、熱帯魚やテレビは置いていない。

英国のホテルでは、夜寝る時、靴をドアの外に起きっぱなしにしてよい。奇妙なことだが、どんなに上等な靴でも盗まれたりはしない。なくなっていることに気が付くことがあっても、警察に電話をしてはいけない。靴磨きのボーイが磨くために持って行っただけのことである。

(7)朝, 出発するのに十分間に合うように靴は再びそこに戻って来ているだろう。

**注**

- ℓ. 2 ○ *Nor do you* ask him … 「(否定文を受けて) ～もまた…ない」ここでは, 前文の  
You do *not* ask a stranger … を受けている。  
○ ask ～ if … (or not) 「～に…かどうか尋ねる」〔名節節を導く if〕
- ℓ. 7 ○ from cover to cover 「最初から最後まで」  
○ as ～ 「～であるように」〔「様態」を表す接続詞〕  
○ be allowed to *do* 「…することを許される」
- ℓ. 10 ○ cheque (英) = check 「小切手」
- ℓ. 13 ○ retire 「就寝する (= go to bed)」
- ℓ. 14 ○ curiously (enough) 「不思議〔奇妙〕なことに」
- ℓ. 15 ○ it simply means that ～ 「それはただ～ということである」
- ℓ. 16 ○ take ～ away 「～を持ち去る, 運び去る」  
○ to be polished 「目的」を表す副詞用法の不定詞] *cf.* polish ～ (～を磨く)

**【6】**

**解答**

(1) is    (2) wanted    (3) is    (4) provided    (5) are    (6) paid

3箇所とも時制は現在時制である。主語が単数か複数かを考えて解答する。

## 添削課題

### 解答

- (1) Most of the Earth's surface is covered with water.
- (2) A decision will not be made until the next morning.
- (3) This road should have been repaired a long time ago.
- (4) Have you ever been bitten by a dog?
- (5) I didn't realize that our conversation was being recorded.
- (6) Mr. Miller was offered the job, but he refused it.
- (7) I don't like being kept waiting.
- (8) Gandhi was born in 1869.
- (9) She got used to driving on the left.



## 9章 不定詞 1

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) 彼女の性格のその一面は、彼女の夫に向けられることは決してなかったようだ。
- (2) あなたに会えてよかった。
- (3) この映像を見る時、笑ったり歯を見せたり微笑んだりしないよう懸命に努力しなさい。
- (4) 今朝、ウィルソン氏は自分の車が修理されることを望んだ。

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) 重要なことは疑問を持ち続けることである。
- (2) 情報は自由であってほしい。

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) そんなことを言うなんて、彼はどうかしているにちがいない。
- (2) その問題を解決するのは簡単だった。
- (3) プラスチックは投げ捨てられるには価値がありすぎる。

#### ■ 確認問題 4

##### 解答

- (1) attempt 「彼らは私を助けようとはしなかった。」
- (2) ability 「民主主義とは上司にノーと言えることである。」
- (3) failure 「ジャックが上手いかなかったのは、彼がさらに加わった複雑な事情を考慮しなかったからだ。」
- (4) freedom 「彼は彼女に何でも好きなことを自由にできる状況を与えている。」

#### ■ 確認問題 5

##### 解答

- (1) 実を言うと、私は転職を考えている。
- (2) そしてその時、さらに悪いことに、彼の両親が現れた。

■ 確認問題 6

解答

- (1) もしトップの座に居続けるつもりなら、彼のように懸命に練習をしなければならない。
- (2) すべての行動は、行動を行う人の意図によって判断されるべきだ。

■ 確認問題 7

解答

- (1) あなたのパソコンをチェックさせてください。
- (2) 彼女のふるまいは父親を怒らせた。
- (3) 私は座って子供たちがその公園で遊んでいるのを見ていた。

## 問題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) エ「生徒は遅刻しないようにすべきだ。」〔否定語は to 不定詞の直前に置く。〕
- (2) イ「私たちの誰もがカンニングはいけないことだと考えている。」  
○ consider *it* ~ to *do* 「…することを～だとみなす」〔形式目的語の *it*〕
- (3) ウ「ナンシーは具合が悪かったので、何か腰掛けるものを探した。」〔「(その上に) 座るための」を表す形容詞用法の不定詞。sit *on* ~ なので、something to sit *on* となる。〕
- (4) イ「この川は7月に泳ぐには危険である。」〔形式主語の *it* を用いて書き換えると、It is dangerous to swim *in* this river in July. となるので、イが正解。〕
- (5) ウ「加藤さんを紹介しましょう。ただ、彼は非常に有名なので、私の紹介を必要としませんが。」〔アイでは文意が逆になってしまう。エは get が不適切。〕  
○ too ~ to *do* 「非常に～なので…できない、…するには～すぎる」
- (6) エ「あなたは彼の忠告に従う必要がある。」  
○ it is necessary for ~ to *do* 「～が…することが必要だ」〔ある事柄についての判断なので for ~ となる。〕
- (7) エ「先生は非常に速く歩いたので、私たちはついていけなかった。」  
○ too ~ for O to *do* 「非常に～なので O が…できない、O が…するには～すぎる」
- (8) ウ「その機会があったのに我々がトムを訪ねなかったのは残念です。私は彼がこの国を発つ前に彼に会いたかったのですが。」〔完了不定詞が would like to とともに用いられる場合、過去において実現しなかった行為を表す。また、同じ意味を表すのに以下の表現もある。→ I would have liked to see him ~〕

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) ウ「自然と調和して生きようとする我々の試みは、昔の考えを復活させたものである。」  
〔名詞 attempt の内容を説明する形容詞用法の不定詞（同格関係）〕  
○ rebirth 「復活、復興」  
ア「面接室に入って行った時、私の心臓は速く鼓動し始めた。」〔began の目的語となる名詞用法の不定詞〕  
イ「実を言うと、私はその会議のことをすっかり忘れていた。」〔独立用法の不定詞（副詞用法）〕  
○ to tell the truth 「実を言うと」  
ウ「彼女は、彼が困難を克服するのを手助けしたいという気持ちを持たなかった。」〔名詞 desire の内容を説明する形容詞用法の不定詞（同格関係）〕  
○ fail in ~ 「～に失敗する、～を欠く」  
○ overcome 「～を克服する」

エ「我々は大変のどが渴いていたので、缶飲料を買いに店へ急いだ。」〔「目的」を表す副詞用法の不定詞〕

オ「その森林が被った被害を修復するのに長い時間がかかるだろう。」

○ it takes ~ to do 「…するのに～（時間など）が必要である」

(2) ア「フィラデルフィア 100 周年博覧会は、独立国家としての第 1 世紀の成就を祝うために催された。」〔「目的」を表す副詞用法の不定詞〕

○ completion 「完成、完了、成就」

ア「私は友達を出迎えるために駅へ行かなければならない。」〔「目的」を表す副詞用法の不定詞〕

イ「何か冷たい飲み物をくれませんか。」〔something を修飾する形容詞用法の不定詞〕

ウ「彼は 90 歳まで生きた。」〔「結果」を表す副詞用法の不定詞〕

エ「そんなことを言うなんて、彼女はバカに違いない。」〔「判断の根拠」を表す副詞用法の不定詞〕

### 【3】

#### 解答・解説

(1) [It takes great courage to speculate about] the beginning and the end of the universe.

○ it takes ~ to do 「…するのに～（時間など）が必要である」

○ speculate about ~ 「～について思いをめぐらす」

(2) They really had to [think of something to talk about], since silence only made them hungrier.

○ think of ~ 「～のことを考える」

○ something to talk about 「話す（べき）話題」〔something を修飾する形容詞用法の不定詞〕

(3) Those who live in a city [must have a strong will in order not to fall] into temptations.

○ will *n.* 「意志」

○ in order not to do = so as not to do 「…しないように」

### 【4】

#### 解答

wood in a fireplace to heat our homes if we have to

#### 全訳

我々はやエネルギーをあまり浪費することはできない。我々は、たとえぜいたくな生活ではなくても、快適な生活を送ることができる。車の代わりにバスに乗ることができる。我々は必要であれば、家を暖めるために暖炉で木を燃やすことができる。

## 【5】

### 解答

(1) 「全訳」の下線部を参照。

◇ this is not because the British are too dull to think of anything else to talk about, but because there is always an element of surprise in the British climate

○ not because ～, but because … 「～のためではなく, …のためである」

cf. not ～, but … 「～ではなく…」

○ too ～ to do 「非常に～なので…できない, …するには～すぎる」

○ dull 「鈍い」

○ an element of ～ 「多少の～」 cf. element (要素)

(2) 「数カ月の間, レインコートを片づけておき, 夏は暖房を消しておくことができること。」(39字) 「people can put away their raincoats for several months and let out their fires during the burning heat of the summer を指している。」

(3) ア ○ in store for ～ 「～を待ちかまえて, ～にふりかかろうとして」

ア 「今まさに我々にふりかかろうとしていること」

イ 「我々のために売りに出されているもの」

ウ 「我々が将来使用するために蓄えられているもの」

### 全訳

英国を訪れる人たちは, 天候が会話のほとんど尽きることのない話題であるのを知って, 驚くことが多い。ある人たちが考えるように, (1)これは英国人が頭の回転が遅くて他に話題にすることを何も思いつかないからではなく, 英国の気候には常にいくぶん驚きが含まれているからである。数カ月間, レインコートを片づけておくことができたり, 夏の燃えるような暑さの間は暖房を消しておくことができる国々もあるが, 英国ではそうではない。なぜなら英国では, 毎日(天候については)何が起るかわからないからである。

## 【6】

### 解答

「全訳」下線部(1), (2)参照。

### 全訳

(1)イギリスでは, ユーモアを表すために, 最高のジョークを言わなくてもよい。そして, ユーモアを表すのにふさわしい時と場所というものもない。少しおもしろい発言は, 非常に改まった状況以外のすべての場面において歓迎される。そのような発言は特に気の利いたものである必要はない。日常的な話し方に過ぎないのである。人々はユーモアを期待している。(相手を)微笑ませたり, 笑わせたりすることは, たとえそれをねらったものでなくても, 何かを言う理由としては十分である。(イギリス人を偽善的と見なす人がいるのはこのためである。)そして, もし「ジョーク」が自分をネタにしたものであれば, なおさらよい。(2)自分を笑い飛ばしたり, 「ジョークを受け流し」たりする能力は高く評価される。自分がこのような能力を持っていることを示す必要性は驚くほど大きい。患者がガンにかかっていることを聞かされたことにどのように反応するかを, かつて, ある医師が尋ねられた。彼はこう答えた。最初にショックを受

けたあとで、最も一般的な反応は自分のガンをネタにしてジョークを言うことであったと。

## 【7】

### 解答

A.

- (1) ジャーマン・シェパード (2) 14カ月のとき  
(3) 盲導犬と将来の飼い主がいっしょにトレーニングをする4週間

B.

- (1) Dogs chosen for such training must show good (character), (intelligence), physical (fitness), and (responsibility).  
(2) It also learns to obey such commands as “(forward),” “left,” “right,” and “sit,” and to disobey any command that might (lead) its owner (into) danger.  
(3) The most important part of the training course is a (four)-(week) program in which the guide dog and its (future) owner learn to work together.  
(4) Only about a (tenth) of the visually challenged find a guide dog useful.

### Script

#### CD 5

A guide dog is a dog especially trained to lead a person who cannot see. Dogs chosen for such training must show good character, intelligence, physical fitness, and responsibility. Although the German shepherd is by far the most widely used breed for guide-dog work, several other breeds including the golden retriever have been trained successfully for this work.

At the age of about fourteen months, a guide dog begins an intensive course that lasts from three to five months. It becomes accustomed to the leather straps and stiff leather handle it will wear when guiding its owner. The dog learns to watch traffic and to cross streets safely. It also learns to obey such commands as “forward,” “left,” “right,” and “sit,” and to disobey any command that might lead its owner into danger.

The most important part of the training course is a four-week program in which the guide dog and its future owner learn to work together. However, many people are unsuited by personality to work with dogs. Only about a tenth of the visually challenged find a guide dog useful.

### 全訳

盲導犬とは、目が見えない人を誘導するよう特別に訓練された犬のことである。そのような訓練のために選ばれる犬は、性格の良さ、知性、肉体の健康、そして責任感を備えていなければならない。ジャーマン・シェパードが盲導犬として圧倒的に多く使われている犬種だが、そのほかにゴールデン・レトリバーなど、いくつかの犬種も盲導犬としての訓練に成功している。

生まれてからおよそ14カ月のときに、盲導犬は集中訓練を始め、それは3カ月から5カ月間続く。盲導犬は、飼い主を誘導するときに身につける革のストラップと堅い皮の手綱に慣れる。盲導犬は人や車の行き来を見て、安全に通りを横断できるようになる。また、「前へ」「左

へ」「右へ」「お座り」などの命令には従い、飼い主を危険な目に遭わせるような命令には従わないようになる。

訓練課程で最も重要な部分は、盲導犬と将来の飼い主と一緒にトレーニングをする4週間の過程である。しかし、犬と一緒にトレーニングを受けることに性格的に向いていない人は多い。目が不自由な人のうち約10分の1の人しか盲導犬が役に立つと思っていない。

## 添削課題

### 解答

- (1) It is natural for him to say something like that.
- (2) I'm [I will be] happy to accept your invitation.
- (3) I called the police to report that my car had been stolen.
- (4) It was kind of Susan to offer to help me.
- (5) He put in great effort, only to lose.
- (6) I got up early so as to be in [on] time for the first train.
- (7) You will require certain information in order to examine it properly.
- (8) I walked very slowly so [in] as [order] not to spill the water in the cup.
- (9) She doesn't seem to have much money.



## 10 章 不定詞2

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) to be
- (2) you to have to be
- (3) me not to say
- (4) pretending to be [pretending that he was]
- (5) what he wants to do
- (6) me how to

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) seems to know
- (2) him to be
- (3) for the rich to
- (4) of you to

## 問題

### 【1】

#### 解答・解説

イ「暗くなる前に私がこの仕事を終えるのは不可能だ。」

- it is impossible for ~ to do 「～が…するのは不可能だ」 → For ~ to do is impossible  
[この場合、ある事柄についての判断なので、of ~ではなく for ~を用いる。]

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) ウ「少年の母親は窓を開けないように言ったが、彼は窓を開けた。」[代不定詞。否定語は to 不定詞の前にくる。この場合、his mother told him not to (open the window) となる。]
- (2) エ「長い討論の末、委員会は彼を好まず、彼を辞めさせることに決めた。」
  - force ~ to do 「～に…することを強制する」
  - the committee 「委員会 (の人々)」[構成員を表す場合は複数扱い]
  - resign 「辞職する、辞める」
- (3) ウ「彼女の両親は長い間『だめだ』と言っていたが、最後には彼女が1人でヨーロッパへ行くのを許した。」[go は原形不定詞。let 「許可する」と make 「強制的にさせる」に注意。]
- (4) ア「あなたがやったことについて心配するな。すぐに忘れなさい。」[Let it be forgotten. は Forget it. という命令文の受動態。]
- (5) エ「彼はドイツ語を話せない。言うまでもなくフランス語も話せない。」
  - to say nothing of ~ 「～は言うまでもない」 [= not to speak of ~, not to mention ~]

[ア so to speak 「言わば」 エ strange to say 「奇妙なことに」 ウ to be frank (with you) 「率直に言う」と]

### 【3】

#### 解答

- (1) 有能な新聞読者は、重要なニュースを新聞のどこで探したらよいかだけでなく、非常に重要な記事はどれかを定める方法をも知っている。
- (2) 短い首をした背の高い動物である象は、餌をかき集めるために口を地面に届かせることは不可能なので、神は象に鼻を与えたのである。
- (3) シェイクスピアは、英語圏の国々では最も偉大な作家とみなされている。そしてやがて世界語となる運命にあった言語で作品を書いていたため、シェイクスピアの魅力は世界共通のものである。しかし、シェイクスピアの人生についてはほとんど知られていない。

## 【4】

### 解答

- (1) 「全訳」の下線部を参照。  
(2) (a), (c), (e)

### 解説

- (1) 不定詞がポイント。まず To cross the Atlantic Ocean は「目的」を表す不定詞である。cross は「～を横断する, 横切る」の意味の動詞。したがって「大西洋を横断するためには」となる。次に, to build a plane は, 直前の money を修飾する, 形容詞用法の不定詞であり, 「飛行機を造るための資金」となる。
- (2) (a) ℓ. 2～ℓ. 3 Finally, some men … と一致。  
(b) alone 「1人で」という記述はない。したがって, 本文の内容とは一致しない。  
(c) ℓ. 4～ℓ. 5 It had to be strong. 参照。主語の It は the plane を指している。したがって, 本文の内容と一致している。  
(d) ℓ. 7～ℓ. 8 He took off … 参照。着陸したのは, パリの道路ではなく, パリの近くの野原である。したがって, 本文の内容とは一致しない。  
(e) ℓ. 7～ℓ. 8 He took off … 参照。着陸したのは, 離陸してから 33 時間半後のことである。したがって, 本文の内容と一致している。

### 全訳

大西洋を横断するために, リンドバーグには飛行機を製造する資金が必要だった。彼は援助をしてくれる人を探した。ようやく, ミズーリ州セントルイスの人たちが, 飛行機を製造するための資金を貸すことを約束してくれた。

リンドバーグは, 特別な飛行機のための計画を立てた。何度も飛行機を試験した。飛行機は頑丈でなければならなかったのである。彼はその飛行機を “The Spirit of Saint Louis” と呼んだ。

1927 年 5 月 20 日, 飛行機の準備が整った。リンドバーグは単独で大西洋を横断するつもりだった。怖くはなかった。自信もあった。ニューヨーク州ロングアイランドを離陸し, 33 時間半後にパリ郊外の野原に着陸した。そこにはリンドバーグを出迎えようと何千もの人々がいた。人々は大声を張り上げ, 喝采を送った。チャールズ・A・リンドバーグは有名になった。彼は “The Lone Eagle (孤独なワシ)” と呼ばれた。

## 【5】

### 解答

「全訳」下線部参照。

### 全訳

多くの動物は幼いうちは無力と言ってもよい。ひな鳥や子どものコウモリは飛び方を教わらなくてはならない。毎年, 何千頭もの子どものアザラシが溺れ死んでいる。決して「自然に」泳げるようにはならないのである。母アザラシは, 子どものアザラシを自分の水かきで押さえて連れ出して, 泳ぎ方を教えなければならない。鳥は教えられなくても鳴く。だが, 同じ種の年上の鳥が鳴くのを聞くことができない限り, うまく鳴くことはない。年上のカヤネズミは子どものカヤネズミよりうまく巣を作る。フランク・バックは, 子ゾウは最初のうちは自分の鼻

が何のためにあるのかが分からないようだと言っている。子ゾウの両親が鼻の使い方を教えるまでは、子ゾウの鼻は行く手を阻み、役に立つものではなくて邪魔になるものようだ。虫は必要とするあらゆる反射能力を備えて生まれるように思われるが、練習して自分の才能を高めているようだ。たとえば、子どものクモは、非常に単純な小さなクモの巣を張ることから始める。長い時間かかってようやく、クモの巣を張るという技術が完全の域に達するのである。

## 【6】

### 解答

(1) 「全訳」下線部を参照。

(2) (a) To (b) of (c) in (d) by

(3) 相手に不快感を与えるぶっきらぼうな表現の代わりに用いられる、あいまいでやわらかい表現。

### 解説

(1)

- (1) ○ miraculous 「不思議な、驚くべき、奇跡的な」 *cf.* miracle (奇跡, 驚くべき出来事)  
○ creature 「生き物、動物」  
○ 関係代名詞 which の先行詞は, miraculous little creatures.  
○ allow ~ to do 「～が…するのを可能にする」
- (2) ○ Other times は前文の Sometimes との相関表現。  
○ Sometimes ~. Other times … 「～する時もあれば、…する時もある」  
○ so that you do not offend or hurt other people 「他人を怒らせたり、傷つけたりしないように」〔否定の目的を表す副詞節。〕  
○ offend 「～の機嫌をそこねる、～を怒らせる」  
○ hurt 「～の感情を害する、～を傷つける」
- (3) ○ the [this, that, one's] very + 名詞 「まさにその、まさしくその」〔この場合の very は形容詞。〕  
○ bring ~ to … 「～を…にもたらす」

(2)

- (a) 空所直後の動詞の原形 be がポイント。To be on the safe side は「目的」を表す不定詞で, to do something especially carefully in order to avoid an unpleasant situation の意味。「大事をとって、念のため」
- (b) these pleasant-sounding words を用いれば、失礼だとか鈍感だとは誰も非難できないということ。「～を…のことで責める、～を…のことで非難する」は、accuse ~ of …。
- (c) 「～声で」は前置詞 in を用いる。  
*cf.* in a low voice (低い声で), in a loud voice (大きな声で), in a rough voice (耳障りな声で)
- (d) judge は「～を判断する、評価する」。その基準となるのが your behavior である。したがって、「判断基準」を表す by が入る。

cf. A man is known *by* the company he keeps.

(付き合う友人を見ればその人がわかる。)

(3) まず, euphemism の意味を考えてみる。

○ euphemism = a polite word or expression that you use instead of a more direct one to avoid shocking or upsetting someone

euphemism とは、「直接的な言葉の代わりに用いられる、相手を刺激したり、不快感を与えないような表現」、つまり「婉曲語 (法)」のことである。

下線部(A)の直後を見ると, a vague, mild substitute for a harsh, blunt expression とあり, これが a euphemism を言い換えたものである。したがって, この部分をまとめればよい。

○ vague 「(言葉・考えなどが) あいまいな, はっきりしない」

○ mild 「(言葉・態度などが) やわらかい, 優しい」

○ substitute for ~ 「~の代用品」[ここでは「~の代わりとなる言葉〔表現〕」のこと。]

○ harsh 「耳障りな, 不快な」

○ blunt 「(言葉などが) ぶっきらぼうな, そっけない」

#### 全訳

(1)言葉は、人間がコミュニケーションをとることを可能にしてくれる奇跡的な、小さな生き物である。言葉の使い方には気をつけなければならない。なぜならば、言葉はコミュニケーションの扉を開いてくれることも、また閉ざしてしまうこともあり得るからである。自由に話し、自分が好むどんな言葉でも使える時もある。(2)また、他人を怒らせたり、傷つけたりしないように、注意して言葉を選択しなければならないこともある。念のため、婉曲的な表現を選択するかもしれない。婉曲的な表現とは、相手に不快感を与えるぶっきらぼうな表現の代わりに用いられる、あいまいでやわらかい表現のことである。このような心地よい響きの言葉を使えば、誰もあなたのことを失礼だとか鈍感だと責めることはできない。

すべての言葉と同じように、婉曲的な表現はそれぞれの時代の価値観を反映している。すべての言葉と同じように、婉曲的な表現は変化する。社会が変化するにつれて、人々は古風な表現を新しい表現に変える。すべての社会は独自の婉曲表現を生み出す。すべての世代はその婉曲表現を変えていくのである。

私が高校生の頃、校長先生がしつけの大切さについて週に1度講義をしてくれたものだ。校長先生は、しつけは素晴らしい価値観の上に築き上げられるということを私たちに気づかせてくれた。「あなたたちはキンバレー校の生徒として、アフリカのキンバレー鉱のダイヤモンドのように輝きがあり、純粋であるべきです。」と、劇的なほど威厳を感じさせる声でおっしゃった。私たちに、素行不良がもたらす危険な結果について注意した。私たちは、母校の道德規律の面目をつぶしかねなかった。学校の面汚しになっていたかもしれない。

私たちは、校長先生の婉曲的な表現を理解していた。母校の道德規律の面目をつぶすことは、嘘をつき、不正行為を行うことを意味した。(3)まさしく不名誉という言葉をお口にしただけで、私たちは恐怖を感じた。なぜならば、私生児を生むということは恥ずべきことであったからだ。その当時、「できちゃった結婚」が不名誉にならないための唯一の方法であった。評判が悪くなるのを望む女の子はいなかったのである。

時代が変わり、人々の振る舞いも変わった。今日キンバレー校の学生たちは当時の校長先生の婉曲的な表現を聞いておそらく笑うだろう。しかし、その言葉の根底にある意味を笑ったりすることはないだろう。言語や社会が変化したにもかかわらず、人々があなたを判断する基準は振る舞いなのである。実際にあなたの振る舞いは自分の価値観を反映しているのである。

**ポイント**

- ℓ. 7 ○ insensitive 「鈍感な、察しが悪い」
- ℓ. 8 ○ reflect ～ 「～を反映する」
- ℓ. 11 ○ principal 「校長、学長」
- ℓ. 14 ○ the Kimberley mines in Africa 「アフリカのキンバレー鉱」〔筆者が通っていたキンバレー校とはスペリングが同じだけで、直接的な関係はない。〕
- ℓ. 15 ○ consequence 「結果、影響」
  - shame ～ 「～の面目をつぶす、～に恥をかかせる」
- ℓ. 16 ○ disgrace 「不名誉、恥、面汚し」
- ℓ. 18 ○ have a baby out of wedlock 「私生児を生む」
- ℓ. 19 ○ scandalous 「外聞の悪い、中傷的な」
  - in those days 「その当時」
  - a shotgun wedding 「妊娠のためにやむを得ない結婚（できちゃった結婚）」
- ℓ. 20 ○ reputation 「評判、名声」
- ℓ. 23 ○ underlying 「裏にある、底にある」

**【7】**

**解答・解説**

He was given more money than he could tell what to do with.

〔語群に否定語句がなく、more money than とあるので、「どうしたらいいかわからないくらいたくさんのお金」は「どうしたらいいかわかるよりも多くのお金」と考える。〕

## 添削課題

### 解答

- (1) I want to improve my ability to communicate in English.
- (2) I want someone to advise me on the issue.
- (3) That chair is not safe to stand on.
- (4) We found it difficult to do so.
- (5) They spoke too quickly for us to understand.
- (6) This sofa isn't wide enough for three people to sit on.



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--